

変性エポキシ樹脂防錆プライマー

DIA ダイヤ ハイエポプライマー

F☆☆☆☆

幅広い素地、旧塗膜に適応し、優れた耐久性と抜群の防錆・防食効果を発揮する、2液タイプの鉄・非鉄金属防錆防食下塗材です。優れた付着性を長期にわたって保持し、鉄鋼構造物のメンテナンス周期の長期化に最適です。

特長

- 各種金属、旧塗膜（活膜）への塗り重ねが可能
- 優れた付着性を長期にわたり発揮
- 無害な錆止め顔料を採用
- 強靱な塗膜でメンテナンス周期を大幅に向上
- 刷毛、ローラー、エアレスでの施工OK

概要

種類：変性エポキシ樹脂防錆プライマー
 用途：一般建築内外部の鉄・非鉄金属部
 施工：刷毛・中毛ローラー・エアレス
 荷姿：ダイヤハイエポプライマー 20kg（基剤17kg/硬化剤3kg）セット
 ダイヤエポキシ用シンナー 16^{リットル}缶
 色相：ホワイト

標準施工工程表

工程	材料	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具	可使時間
					工程内	工程間		
1	素地調整	①発錆部についてはISO St3(ディスクサンダー等の動力工具を使用したケレン処理)まで、活膜部についてはチョーキング、油脂、各種塩類等の付着物をサンドペーパーかけ等で除去清掃して下さい。 ②塗装面のゴミや埃は取り除いて下さい。						
2	ダイヤハイエポプライマー A液(基剤) B液(硬化剤) ダイヤエポキシ用シンナー	17kg 3kg 0~1 ^{リットル}	0.20~0.40kg/m ² 50~100m ² /セット※	1	—	16時間以上 7日以内	刷毛 中毛ローラー エアレス	8時間
3	上塗り	ダイアナチュラルウレタン、ダイアナチュラルシリコンtype2、ダイアナチュラルフッソ、ダイヤスーパーセラマイルド等が適用できます。						

- ※1 所要量は、刷毛、ローラー施工で0.2kg/m²、エアレス施工0.4kg/m²。
 ※2 乾燥時間は標準状態(23℃,50%RH)での時間を示します。
 ※3 弱溶剤だけでなく溶剤系上塗材も適用できます。製品は必要に応じて選択して下さい。

ダイヤハイエポプライマー

危険物表示

ダイヤハイエポプライマー基剤	消防法:第4類第2石油類	労働安全衛生法:第2種有機溶剤
ダイヤハイエポプライマー硬化剤	消防法:第4類第1石油類	労働安全衛生法:第2種有機溶剤
ダイヤエポキシ用シンナー	消防法:第4類第1石油類	労働安全衛生法:第2種有機溶剤

施工・管理上の注意

【塗装面の調整(新設)】

- ①素地に付着している塵、汚れ、油脂類、レイタンス等を完全に除去して下さい。
- ②雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。

【塗装面の調整(新設・改修共通)】

- ①屋上防水、目地排水管など水の浸透が予想される箇所については、事前に十分点検し適切な処置をして下さい。

【塗装面の調整(改修)】

- ①各現場の改修工事仕様に基づき劣化部分の補修や既存塗膜の処理(ケレン、清掃、高圧水洗淨)などを行なって下さい。
- ②脆弱層が厚い場合には、取り除いてから施工して下さい。
- ③チョーキングは、サンダー、ワイヤブラシ等でケレン除去して下さい。
- ④既存塗膜の種類によりリフティング(シフ)を生じることがありますので、あらかじめ目立たない箇所を確認して下さい。

【材料の保管・管理】

- ①開缶した材料は必ず密封し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。
- ②材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5～35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
- ③ダイヤハイエポプライマー、ダイヤエポキシ用シンナーは危険物ですので、火気や換気に十分注意して下さい。
- ④硬化剤は湿気で硬化しますので、使用後は密栓して保管して下さい。

【施工】

- ①気温5℃以下、降雨、降雪、強風下および湿度85%以上の場合、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。
- ②材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。配合割合を誤りますと、成膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。
- ③材料は付着乾燥しますと取れませんが、完全に養生をして下さい。塗付面周辺の養生を完全に行ない、施工時建物の周辺に飛散しないように注意して下さい。また、塗付後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと斑が残ったりとなります。
- ④乾燥時間は、温度、湿度、および、風等により差異を生じます。
- ⑤下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- ⑥施工にあたっては、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因になります。
- ⑦施工後24時間以内に降雨、結露等があった場合、水分の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- ⑧本施工に入る前に試験塗りをを行い、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりがムラにならないよう確認して下さい。
- ⑨希釈する場合、希釈量を厳守して下さい。薄め過ぎると防錆機能が十分に発揮されません。
- ⑩常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- ⑪安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- ⑫一度に厚く塗ると色分けや発泡が生じることがあるため、間隔時間を守り、規定回数以上に分けて塗布して下さい。
- ⑬塗装下地の差によって、塗布量が変わる場合があります。
- ⑭フッ素や無機系などの難接着塗装処理がされている下地については、付着性が十分に発揮されないおそれがありますので、ご使用の場合は最寄の営業所へご相談下さい。
- ⑮可使時間及び塗装間隔は厳守して下さい。層間密着性の低下の原因となります。
- ⑯使用した器具類は直ちに洗浄して下さい。放置しますと硬化して洗浄することが難しくなります。
- ⑰ハイエポプライマーは2液タイプですので、小分けする場合は割合割合を厳守し、十分混合して下さい。又、混合したものは可使時間の内に使い切して下さい。

【安全衛生上の注意】

- ①取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- ②取扱後は、手洗い及びうがいを十分に行なって下さい。
- ③子供の手の届かない所に保管して下さい。
- ④作業中・作業後は十分換気を行って下さい。
- ⑤廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
- ⑥目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ⑦誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ⑧中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- ⑨皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ⑩臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

【その他】

- ①その他、詳しくは最寄の各営業所へお問い合わせ下さい。
- ②施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については仕様書等をご確認下さい。
- ③施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認下さい。

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たにシーカ・ジャパン株式会社としてスタートいたしました。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト
<https://www.dia-dyflex.jp/>
 にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

(23.9月現在)23.09.300 SJ